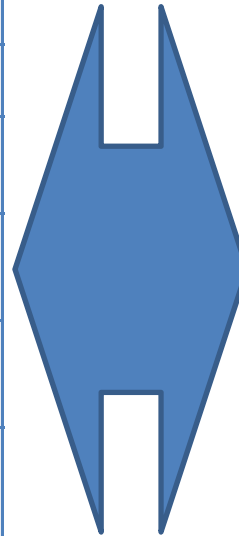


重点化の視点(案)

ナノ材WG第2回
資料4

【ナノテクノロジー・材料共通基盤技術WG】
10年後の技術ポテンシャル、ブレークスルーの視点

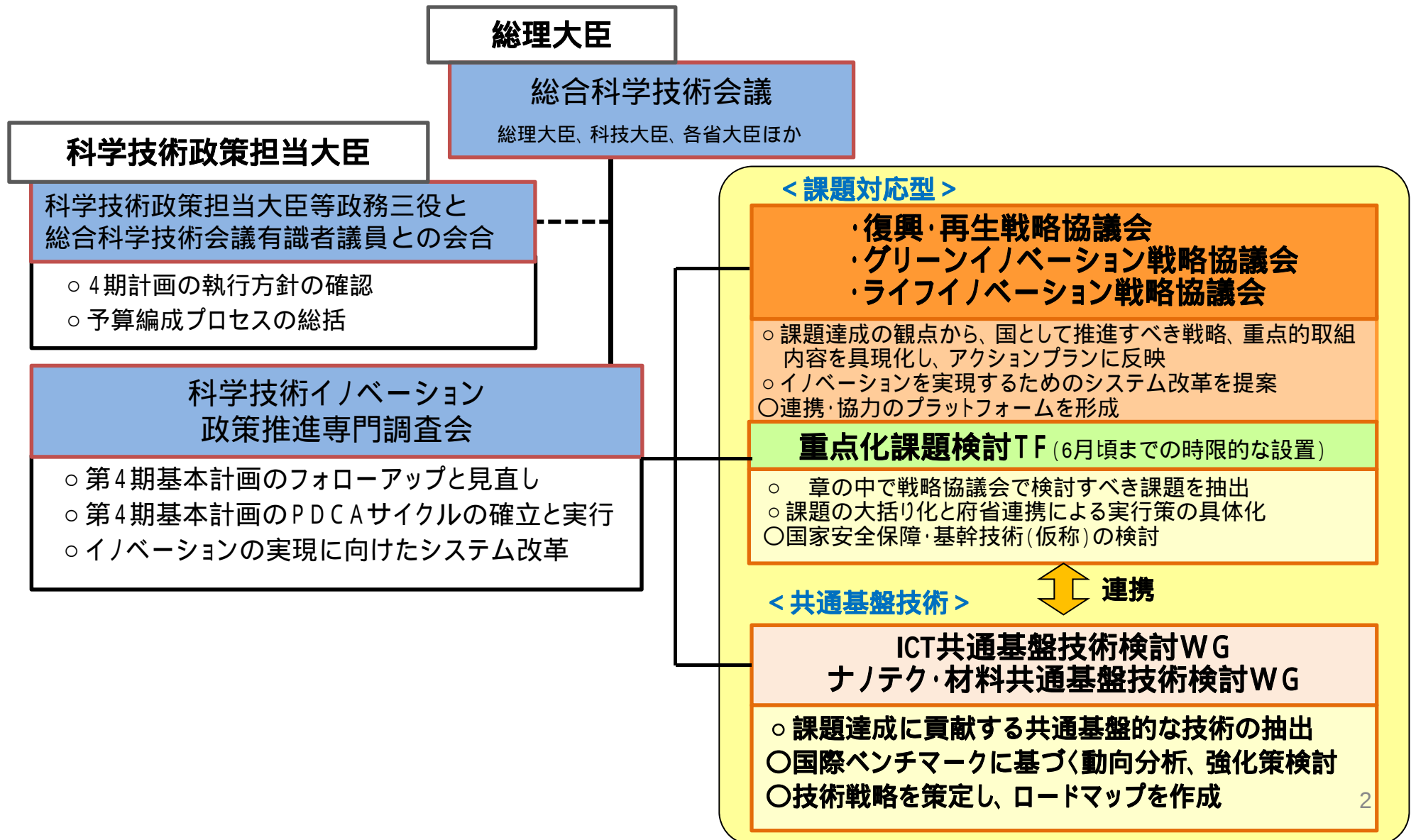
視点	説明
基盤性	当該技術が、特定の用途のみでなく、複数の技術分野・領域への適用が可能な技術であること。
革新性	以下のいずれかに該当する技術課題であること。
	実用化されていない技術の実用化
	作動原理、製造原理が新しい技術の実用化
実現性	既存技術の延長にあるが、改善代が明確な技術の実用化
	・ 目的とそれを達成するための技術的な課題が明確であること。
	・ 上記課題を解決する方策と目標時期が明確であり、ロードマップを作成できること。
技術競争力の優位性	・ 10年以内を目途に技術の基本骨格が確立していること。
	国際ベンチマーク上、日本が強い、もしくは今後強みとすることを期待できる技術領域であること。



【戦略協議会・重点化課題検討TF】
課題解決からの視点

- (1) 期待される効果（経済的効果、社会的効果）が十分に大きく、持続的な成長と社会の発展に貢献するものかどうか
例：産業競争力を強化
新産業を創出
省エネルギー・省資源・環境性向上
安全性を確保
- (2) 期待される効果の発揮に貢献できる取組であるかどうか（特に研究成果の実用化までの段階を見通した実施主体候補等が明確に示されているか）
- (3) 当該分野の国際的位置付け（政策上の位置付け、技術競争力の優位性等）を把握した上で、我が国として重点的に推進すべきものと言えるかどうか
- (4) 緊急性が高い取組かどうか
- (5) 国と民間等との役割分担を考慮した上で、国が主導して実施する必要性が高いものであるか

第4期科学技術基本計画の推進体制(1)



第4期科学技術基本計画の推進体制(2)

基本認識

科学技術イノベーション政策推進専門調査会

将来にわたる持続的な成長と社会の発展の実現

復興再生戦略協議会

グリーンイノベーション戦略協議会

ライフイノベーション戦略協議会

I C T 共通基盤技術検討WG

ナノテクノロジー・材料共通基盤技術検討WG

科学技術外交戦略TF

基礎研究及び人材育成部会

社会とともに創り進める政策の展開

科学技術イノベーション政策推進専門調査会